取扱説明書 （品番：3DR）

3-drive・REMOTE

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

● 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

＋
目 次

装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒８ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

純正ECU以外は装着不可

ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合は取付できません。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、nor（ノーマル）モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

特 長

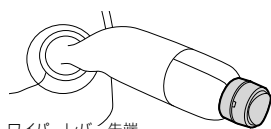
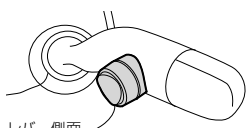
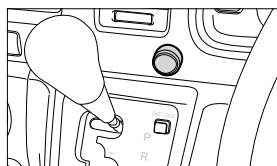
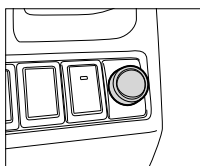
オートクルーズをリモート操作できるスロコン

AUTO CRUISE

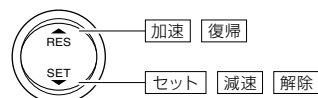
操作性と快適性を向上させたオートクルーズ機能

NEW

オートクルーズ 設定した速度で自動走行。（30～140km/h）

リモートスイッチ 小型スイッチはワイパーレバーやシフトレバー付近など操作しやすい場所に両面テープで簡単装着。

ワイパーレバー先端

レバー側面

シフトレバー付近

純正スイッチ付近

リモート操作
オートクルーズの各操作はリモートスイッチから可能。

RES: 加速 / 復帰
SET: セット / 減速 / 解除

安定した制御 安定した新方式の速度制御方式を採用。

燃料消費量比較

走行	燃料消費量
オートクルーズ走行（60km/h）	121cc
波状走行（55～65km/h）	151cc
波状走行（50～70km/h）	183cc

本数値は道路環境などで異なる場合があります。
車種＝スズキ ワゴンR（MH23S）／道路勾配＝上り平均1.5度／距離＝1.5km
※波状走行とは、設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

THROTTLE CONTROLLER

レスポンスモードが追加されたスロコン

NEW

レスポンスモード NEW（5段階）低、中域レスポンスを上げるワイヤー特性に近い性能。

スポーツモード （7段階）全域のレスポンスを上げスポーツ走行に最適。

エコモード （5段階）低、中域レスポンスを下げエコ運転に最適。

ノーマルモード 純正状態。

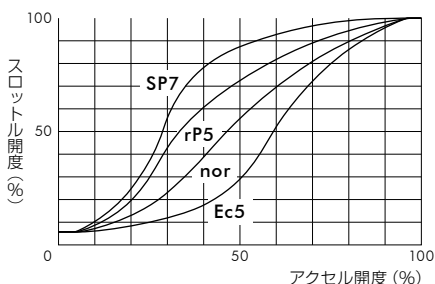
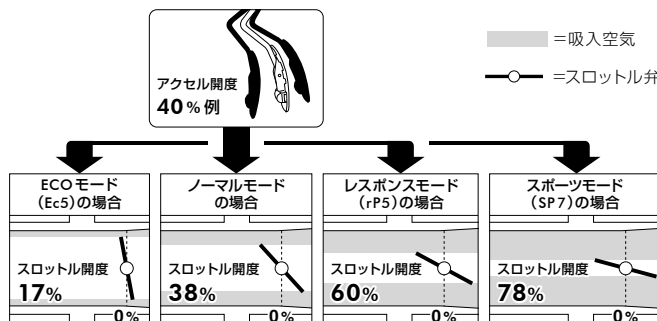
加速時間比較

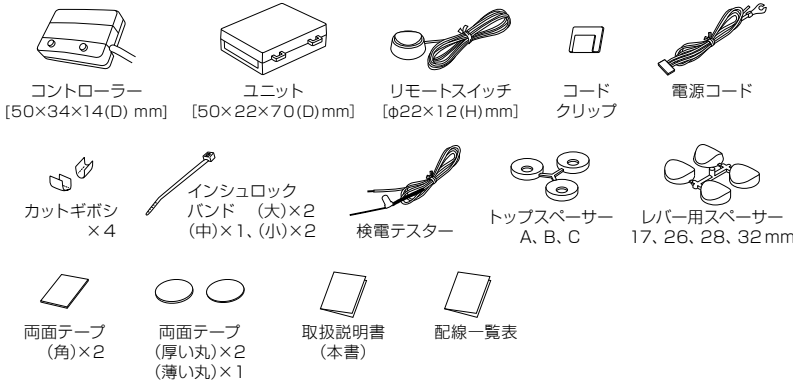
モード	加速時間
ノーマル	23秒
rP5	20秒
SP7	19秒
Ec5	29秒

燃料消費量比較

モード	燃料消費量
ノーマル	107cc
rP5	117cc
SP7	157cc
Ec5	58cc

rP5＝レスポンスモード最大　SP7＝スポーツモード最大　Ec5＝ECOモード最大
車種＝ホンダ ステップワゴン（RG1）／距離＝0 ～ 400m ／アクセル開度30%固定

スロットル開度変化

rP5＝レスポンスモード最大　SP7＝スポーツモード最大
Ec5＝ECOモード最大
車種＝スズキ ワゴンR（MH34S）

※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

内容物をご確認ください

コントローラー
[50×34×14(D) mm]

ユニット
[50×22×70(D)mm]

リモートスイッチ
[φ22×12(H)mm]

コード
クリップ

電源コード

カットギボシ
×4

インシュロック
バンド (大)×2
(中)×1、(小)×2

検電テスター

トップスペーサー
A、B、C

レバー用スペーサー
17、26、28、32mm

両面テープ
(角)×2

両面テープ
(厚い丸)×2
(薄い丸)×1

取扱説明書
(本書)

配線一覧表

装着時に準備する道具と材料

など

各部の名称

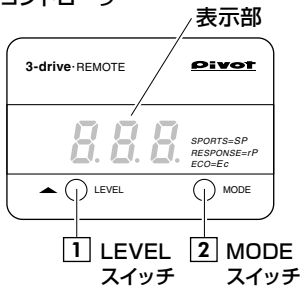
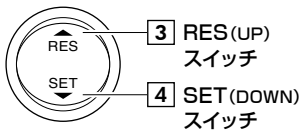
●コントローラー

表示部

1 LEVEL スイッチ　2 MODE スイッチ

●リモートスイッチ

RES / SET

3 RES(UP) スイッチ
4 SET(DOWN) スイッチ

番号	オートクルーズOFF時	オートクルーズ走行時	各設定
1	変化率切り換え	レベル調整	初期設定
2	モード切り換え	オートクルーズ解除	車速パルス設定 再始動時のモード設定
3	オートクルーズ復帰 (リジューム)	設定速度を上げる	
4	オートクルーズセット	設定速度を下げる	

表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

⚠警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

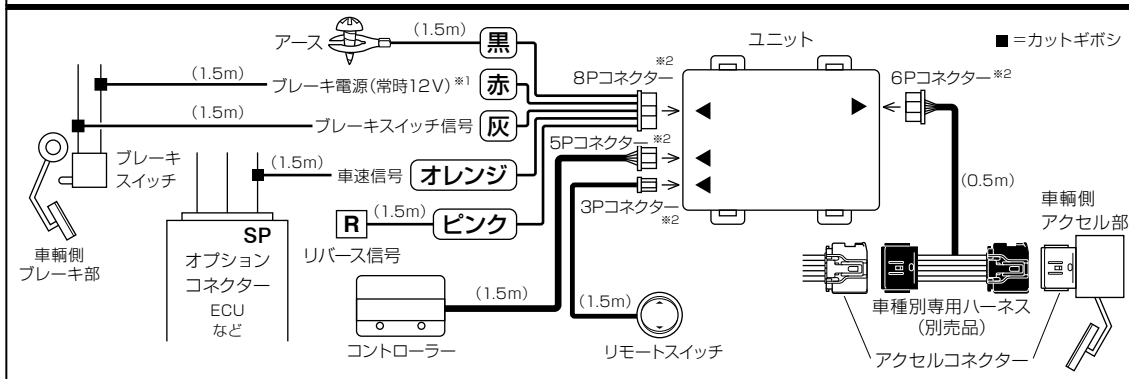
⚠注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 間違った設定や使用方法による車輌、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、3-drive · REMOTE対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- エレクトロタップは使用しないでください。
- 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- お手入れは乾いたやわらかい布(めがね拭き)で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。
  プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

手順 1 配線接続方法

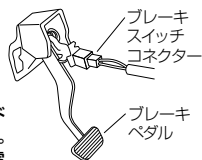
基本配線　取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。

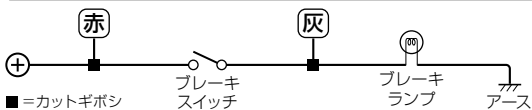
アース (1.5m) 黒
(1.5m) ブレーキ電源(常時12V)※1 赤
(1.5m) ブレーキスイッチ信号 灰
ブレーキスイッチ
車輌側ブレーキ部
(1.5m) 車速信号 オレンジ
SP オプションコネクター ECUなど
R (1.5m) ピンク リバース信号
コントローラー (1.5m)
(1.5m) リモートスイッチ
ユニット
8Pコネクター※2
5Pコネクター※2
3Pコネクター※2
6Pコネクター※2
(0.5m)
車輌側アクセル部
車種別専用ハーネス(別売品)
アクセルコネクター
■＝カットギボシ

※1　ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。
※2　コネクター差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

⚠ **●車輌側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。**
●ブレーキスイッチコネクターは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。
●配線作業は必ずバッテリーの ⊖ 端子を外して行ってください。

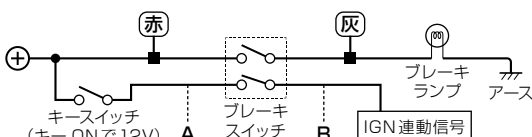
ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

赤 ブレーキ電源へ（常時12V）
灰 ブレーキスイッチ信号へ

ブレーキスイッチコネクター
ブレーキペダル

●ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。
●接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

コネクターのコードが2本の場合

❗ コネクターのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。(各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。)

4本

■＝カットギボシ

検電方法（⇒ 5ページ 検電テスター（付属品）の使い方参照）

1.キースイッチはOFFでギヤはP（パーキング）またはN（ニュートラル）
2.別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	✹（12V）	✹（12V）	ブレーキ電源
灰	○（0V）	✹（12V）	ブレーキスイッチ信号

✹＝検電テスター点灯　○＝消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か**「ブレーキハーネス」**から配線方法を選んで作業を行ってください。
①指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
②未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

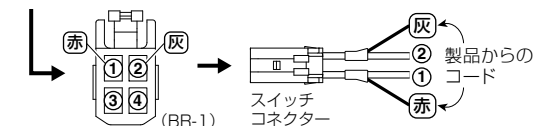
直接接続の場合

「配線一覧表」の“接続番号”のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。
(⇒ 5ページ【参考2】カットギボシの使い方参照)

配線一覧表

⚠ **表中の“ブレーキハーネス接続コード色”は、クルマ側のコード色ではありません。**

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合
TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス 接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青	黄

接続番号

ブレーキハーネス（別売品）使用の場合

「配線一覧表」の“ブレーキハーネス接続色”へ、赤と灰コードを接続してください。
(詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。)

配線一覧表

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合
TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス 接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	1	2	青	黄

接続色

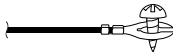
車速信号

オレンジ **別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用し接続。**

(下記【参考2】カットギボシの使い方参照)

※三菱・スズキ・日産の一部車種は別途車速パルスアダプターが必要です。
※接続は車輌側コードの指示された場所に行ってください。
(CAN-BUSアダプターには接続しないでください。)

アース

アースが取れる金属部のネジに固定する。

※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

リバース信号

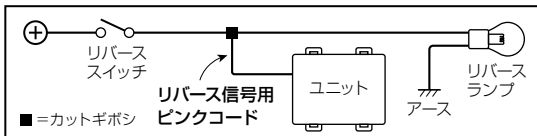
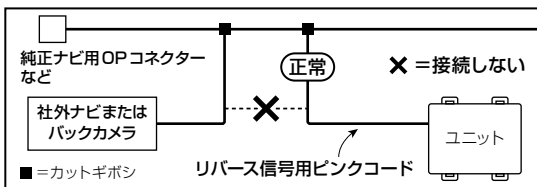
リバース配線を行うと、スポーツモードまたはレスポンスモードでのR(リバース)時、ノーマル状態に自動的に切り換わります。また、このときはオートクルーズセットもできません。

※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、必ずしもこの配線を行う必要はありません。
※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク **●ギヤ位置**
R(リバース)時=12V、その他の位置=0V

(検電方法) キースイッチON(エンジンは始動しない)でギヤをリバースへ動かす。

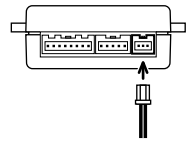
(接続方法) 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

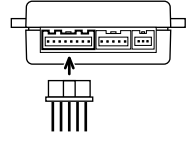
■リバース信号へ接続する場合

■純正ナビ用オプションコネクターなどへ接続する場合
社外ナビゲーションのリバースケーブルへは接続しないでください。

(接続の確認) リバース信号が入力されるとスポーツモードまたはレスポンスモードでbAc表示し、ノーマルモードに切り換わります。

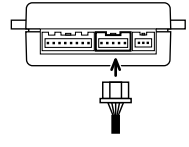
bAc

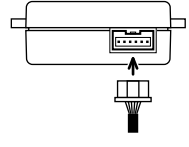
コネクターの差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

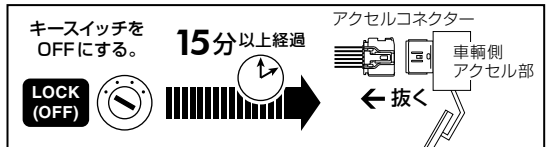
リモートスイッチ

3P コネクター **ユニット側面へ接続。**

電源コード

8P コネクター **ユニット側面へ接続。**

コントローラー

5P コネクター **ユニット側面へ接続。**

車種別専用ハーネス(別売品)

6P コネクター **ユニット側面へ接続。**

⚠ **アクセルコネクターの取り外しは**
キーOFF後15分以上経過してから行ってください。

車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
(チェックランプ点灯の場合⇒16ページ「チェックランプ消灯方法」参照)

※アクセルコネクターへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。

❗ オートクルーズを使用しない場合の配線

赤 =常時12V(ブレーキ以外でも可)
黒 =アース
灰 オレンジ =どこにも接続しない

リモートスイッチをユニットに接続する。

【参考1】検電テスター(付属品)の使い方

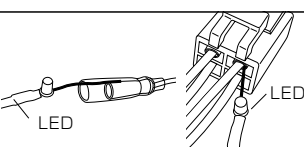
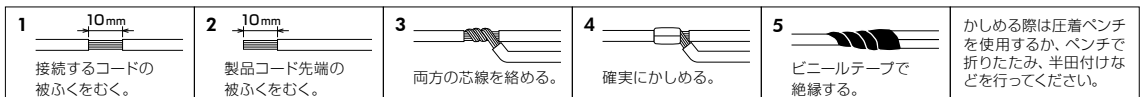
1 アースをするネジを緩め、コードの先端(芯線)を入れ締める。

※アース用ネジは金属に固定されたネジを使用してください。プラスチック部に固定されたネジや塗装ネジでは絶縁状態になり、通電しません。

2 検電する場所にLEDの先端を接触させる。

一部の車種において、電流容量不足から付属検電テスターやLED検電テスターが使用できない場合があります。その場合はアナログテスター等をご使用ください。

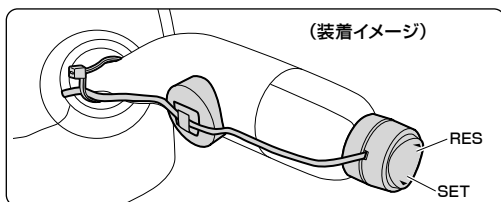
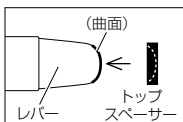
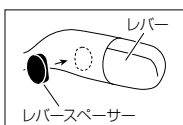
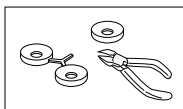
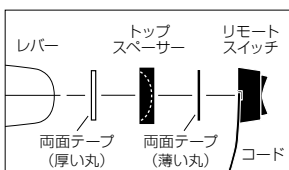
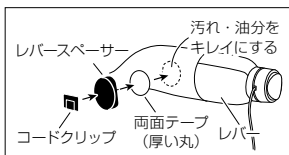
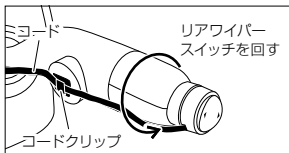
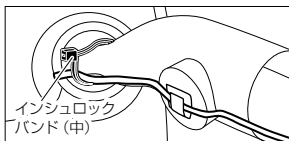
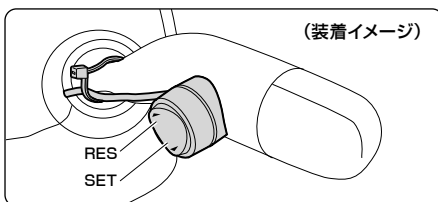
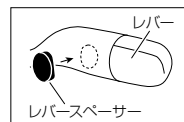
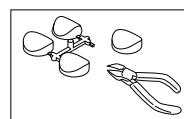
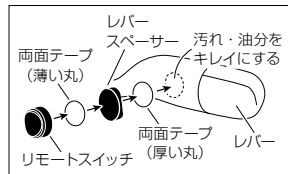
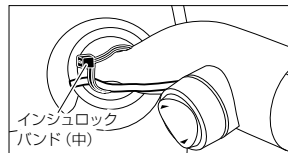
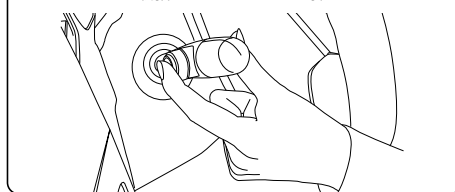
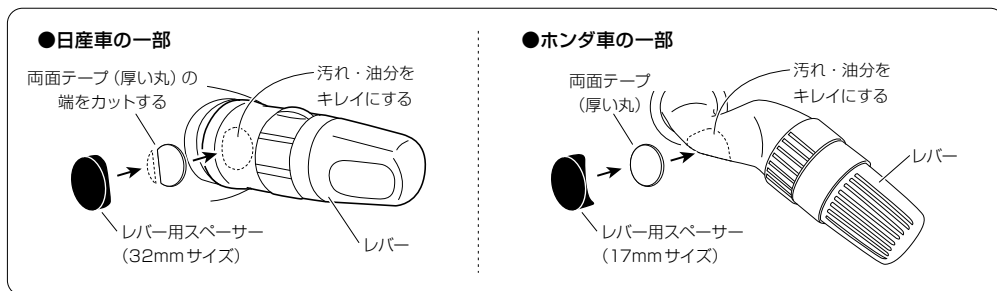
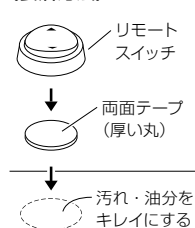
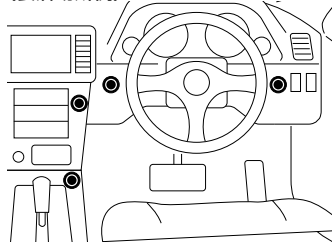
【参考2】カットギボシの使い方

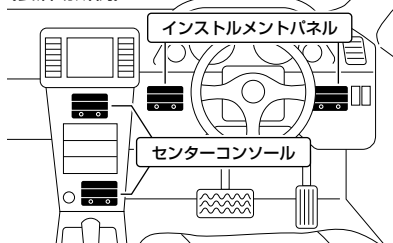
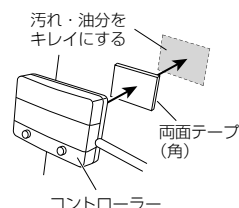
かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

手順2 製品の固定

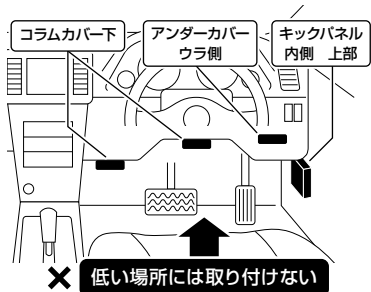
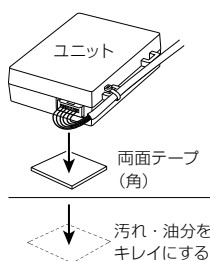
⚠ **配線はテープなどで収納してください。**
使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。
また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

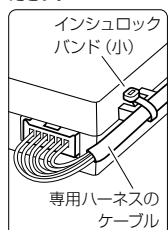
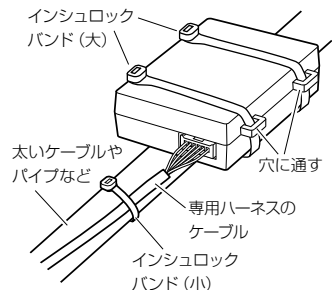
リモートスイッチの固定

操作しやすい場所に装着してください。

●ワイパーレバー先端へ固定する場合

1 先端が曲面に装着する場合は曲面に合う形状のトップスペーサーを選ぶ
(A=R12、B=R20、C=R37)

2 4種類のレバースペーサーから使用するものをレバーに合わせて選ぶ
(レバー外径
17、26、28、32mm)

3 使用する各スペーサーを切りはなす

4 両面テープを使用し、トップスペーサーとリモートスイッチを固定する

5 両面テープを使用し、レバースペーサーとコードクリップを固定する

6 リアワイパースイッチを最大に回した状態でリモートスイッチのコードをコードクリップに固定する

7 インシュロックバンドを使用し、レバー根元でコードを固定する

●ワイパーレバー側面へ固定する場合

1 側面が曲面に装着する場合は曲面に合う形状のレバースペーサーを選ぶ
(レバー外径
17、26、28、32mm)

2 使用するスペーサーを切りはなす

3 両面テープを使用し、レバースペーサーとリモートスイッチを固定する

4 インシュロックバンドを使用し、レバー根元でコードを固定する

POINT
※ワイパーレバー側面へ装着した場合は、レバーが動かないよう親指で支え、スイッチを押してください。

ワイパーレバー側面への特殊な取り付け例

●平面に固定する場合

コントローラーの固定

できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

●平面に固定する場合

専用ハーネスのコネクターが抜けないよう、ケーブルを固定してください。

●ケーブルやパイプなどに固定する場合

手順3　初期設定（アクセル開度設定）必ず行ってください。

はじめて装着したとき ／ 違うクルマに装着したとき

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線（コネクター装着）後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ギヤ位置 **P**（パーキング）または **N**（ニュートラル）で行ってください。

【設定方法】

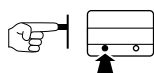
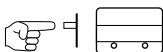
■ ＝コントローラー表示　（　）内は補足説明

1 キースイッチをONにする
（エンジンは始動しない）

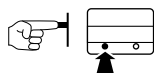
●nor と表示されます。 **nor**
（ノーマルモード）

表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。

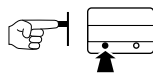
2 LEVELスイッチを10秒長押しし、表示を 0 にする

cAr ⇒ **-5-** **-4-** … **-0-**
（cAr 点滅表示後、5〜0カウントダウン）

3 表示 0 でLEVELスイッチはなす
-0-

4 アクセルペダルを踏まない
（アクセル0%状態にする）
（例）**L1.5**

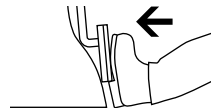
（電圧表示　例＝1.5V　各表示数値は車種により異なります。）

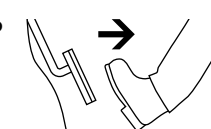
5 アクセル0%状態でLEVELスイッチを押す
●SEt と表示されます。 **SEt**

6 アクセルペダルを奥いっぱいまで踏み込む
（アクセル100%状態にする）
（例）**H4.5**

（電圧表示　例＝4.5V　各表示数値は車種により異なります。）

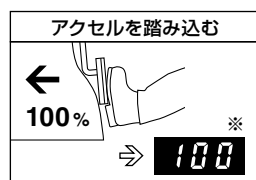
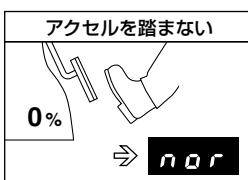
7 アクセル100%状態でLEVELスイッチを押す
●SEt と表示されます。 **SEt**

Err 表示になる場合
Err 表示後 4 の表示（L1.5 など）に戻る場合は、アクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 4 からやり直してください。

8 表示が 100 に変わるまでアクセルペダル踏み続ける

SEt ⇒ **nor** ⇒ **100**

9 表示が 100 に変わったらアクセルペダルをはなす

100 ⇒ **nor**

10 **設定完了**

他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。
設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認（表示が違う場合は再度 2 から行ってください。）

アクセルを踏まない

アクセルを踏み込む

※アクセルの特性上または踏み方によって、A95（95%）の表示になる場合があります。

車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

1 キースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)

●nor と表示されます。

(ノーマルモード)

⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。

2 MODEスイッチを3秒長押しする

●PLS と表示されます。

3 MODEスイッチをはなす

●パルス数が表示されます。

4 MODEスイッチを押し、設定するパルス数を選択する
(押すごとに切り換わり)

P-2 ← P16 ↑ P-8 ← P-4 ← P-2
(出荷時設定)

5 3秒間操作なしで点滅表示

P00

6 5秒間操作なしで点滅表示からノーマルモードに戻る

nor **設定完了**

⚠ 車速パルス設定は正しく行ってください。正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約30 ～ 140 km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

再始動時のモード設定

再始動時のモードと変化率

エンジン始動時のモードを「前回使用モード」、「ノーマルモード」の選択が可能です。

ロック		ノーマル	
Loc	前回使用時のモードと変化率	nor	ノーマルモード

1 SPモードにする

SP0

2 MODEスイッチを5秒長押しする

iGn 3秒点滅

3 現在の設定が表示されたらMODEスイッチをはなす

(例) nor 現在の設定を表示
(出荷時＝ノーマルモード)

4 MODEスイッチ押すごとに切り換わり

Loc ⇄ nor
(ロック) (ノーマル)

5 5秒間操作なしでモード表示に戻る

SP0 **設定完了**

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、低速で簡単な確認を行ってください。

⚠ **テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。**
本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン始動 START

2 走行開始 (35～40km/h)

3 SETスイッチ押す

4 設定速度で自動走行

○ Acc 表示になる
⇒ 各配線・設定は問題ありません。

× Acc 表示にならない
⇒ 右の各項目を確認してください。

● -b- が表示される場合
灰コードの接続不良 ⇒4ページ
ピンクコードの配線間違い ⇒5ページ

● --- が表示される場合
車速パルス設定不良 ⇒9ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒5ページ

●スイッチを押しても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒8ページ

オートクルーズ解除方法 ●ブレーキを踏む ●MODEスイッチ押す ●SETスイッチを1秒長押し

基本動作

エンジン始動

スロコン (⇒11ページ)

モード切り換え
MODEスイッチを押す

変化率切り換え
LEVELスイッチを押す

オートクルーズセット (⇒12ページ)
30km/h以上でSETスイッチを押す
Acc

オートクルーズ走行
設定速度で自動走行

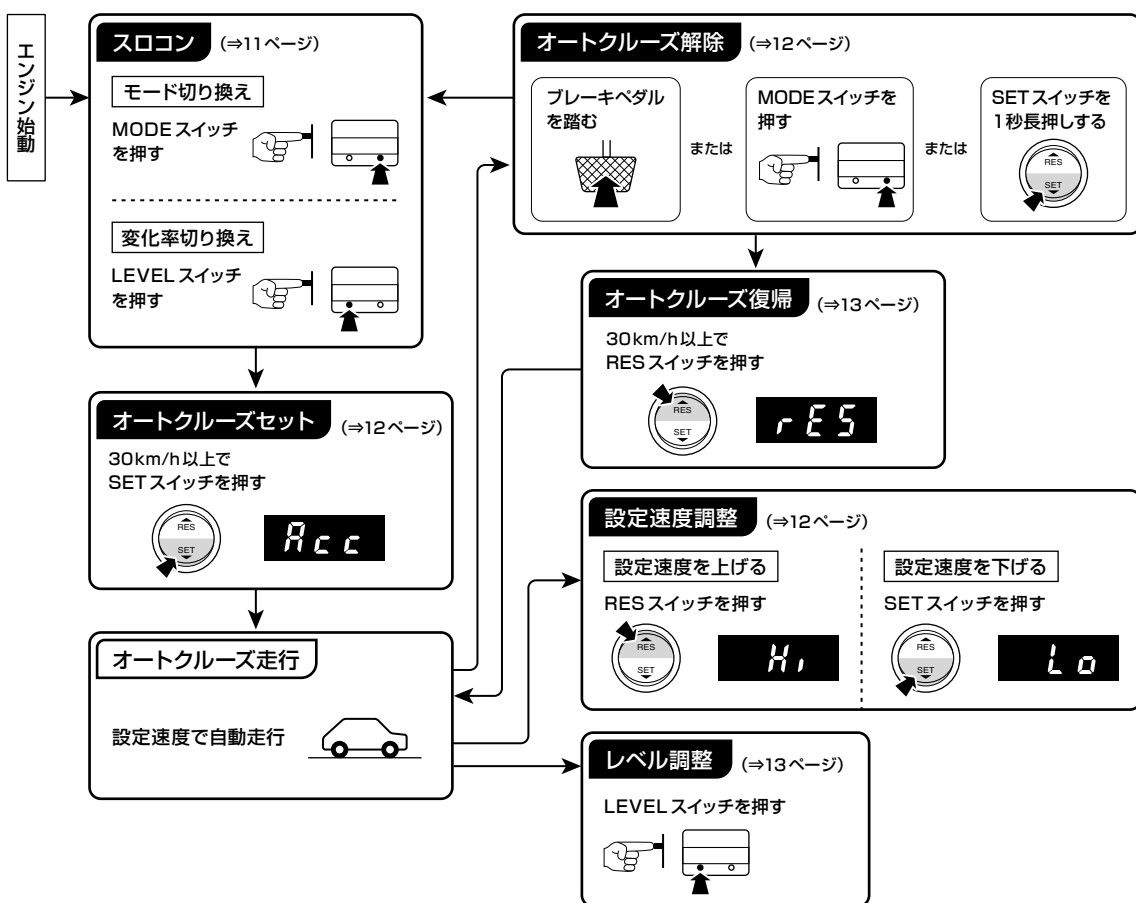
オートクルーズ解除 (⇒12ページ)
ブレーキペダルを踏む
または
MODEスイッチを押す
または
SETスイッチを1秒長押しする

オートクルーズ復帰 (⇒13ページ)
30km/h以上でRESスイッチを押す
rES

設定速度調整 (⇒12ページ)

設定速度を上げる
RESスイッチを押す
Hi

設定速度を下げる
SETスイッチを押す
Lo

レベル調整 (⇒13ページ)
LEVELスイッチを押す

アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [15~100%まで5%単位]

● アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
● 表示は15%以上で表示します。

アクセル開度(出力側)20%時

用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。

用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

用途 3 制御状態のチェック

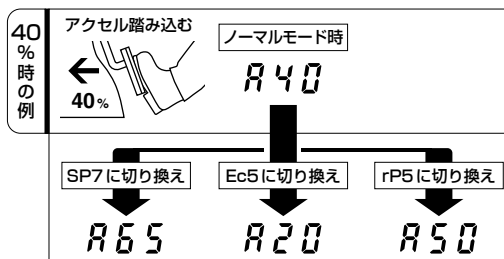
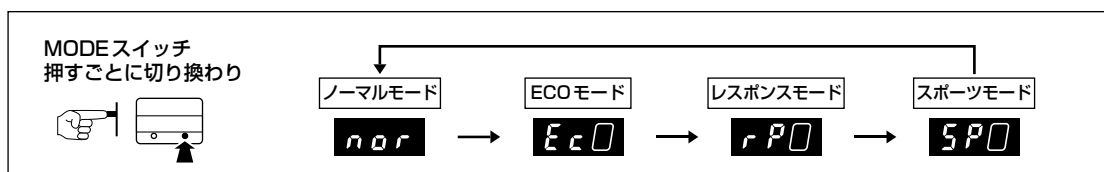
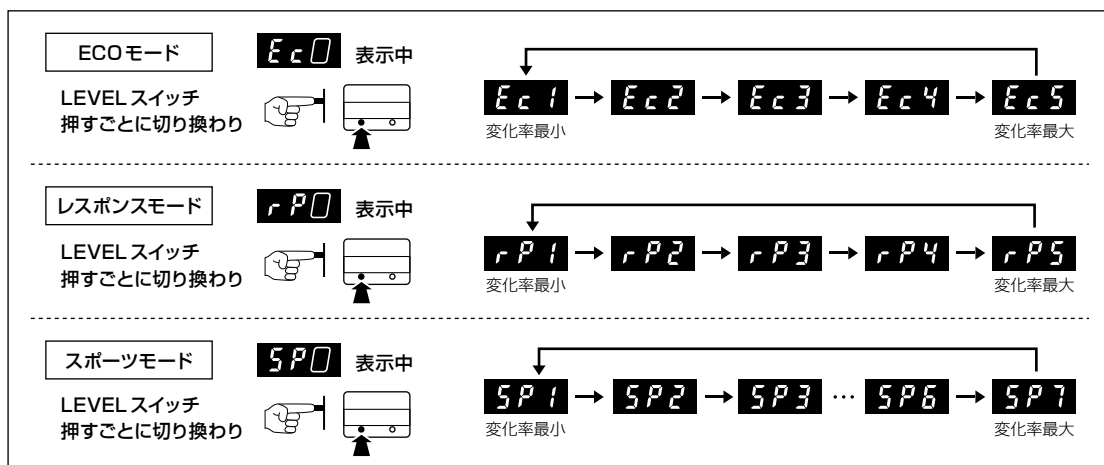
キー ON(エンジン停止)状態でノーマルモードでアクセルを40%(A40)まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力65%(A65)となり、rP5では50%(A50)、Ec5では20%(A20)となります。

※表示は多少異なる場合があります。

スロコン操作方法

モード切り換え

MODEスイッチ
押すごとに切り換わり

ノーマルモード nor → ECOモード Ec0 → レスポンスモード rP0 → スポーツモード SP0

変化率の切り換え

各モードの特徴

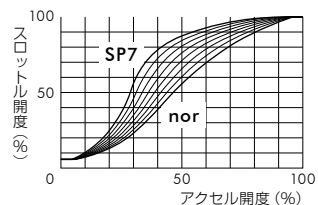
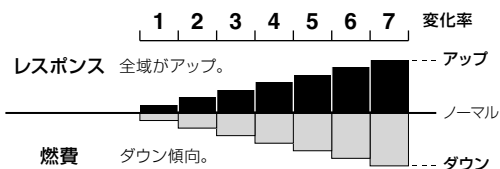
スポーツモード

サーキット　スポーツ

変化率 1 2 3 4 5 6 7

レスポンス　全域がアップ。
燃費　ダウン傾向。

アップ / ノーマル / ダウン

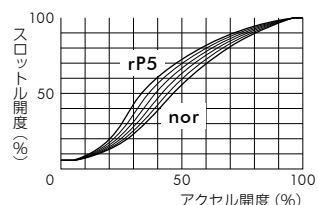
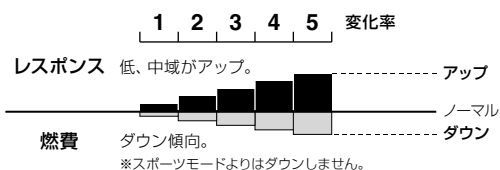
スロットル開度（%）0 50 100 / アクセル開度（%）0 50 100 — SP7 / nor

レスポンスモード

サーキット　スポーツ　ワイヤー特性に近い

変化率 1 2 3 4 5

レスポンス　低、中域がアップ。
燃費　ダウン傾向。
※スポーツモードよりはダウンしません。

アップ / ノーマル / ダウン

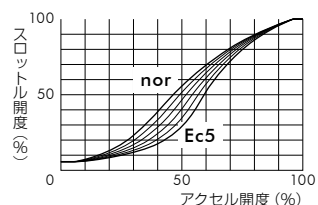
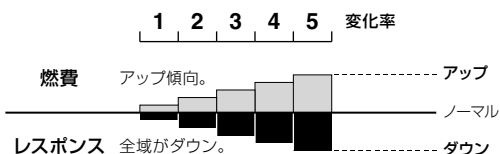
スロットル開度（%）0 50 100 / アクセル開度（%）0 50 100 — rP5 / nor

ECOモード

ECO運転　市街走行　渋滞走行　滑りやすい路面

変化率 1 2 3 4 5

燃費　アップ傾向。
レスポンス　全域がダウン。

アップ / ノーマル / ダウン

スロットル開度（%）0 50 100 / アクセル開度（%）0 50 100 — nor / Ec5

モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。
エンジン再始動時のモードについては、⇒9ページ【再始動時のモード設定】をご覧ください。

※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。
※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

オートクルーズ操作方法

オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

⚠
- オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
  ①滑りやすい路面（雪、凍結） ②渋滞時 ③急カーブや急な坂
- 急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- エンジン回転が上がるため、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】

約30～140km/h

純正メーターでは、表示誤差から35～145km/hくらいでの設定になります。

セットする

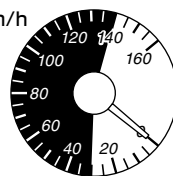
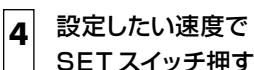
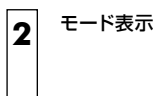
1 エンジン始動

START

2 モード表示

3 走行開始
（30km/h以上）

4 設定したい速度でSETスイッチ押す

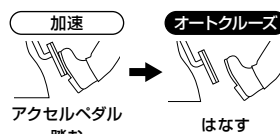
⚠ セット時には急激なアクセル操作を行わないでください。

※1 できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。
※2 急な上り坂では、セット時、多少減速してから安定走行になります。

5 設定速度で自動走行

加速時以外はアクセルを踏まないでください。

Acc

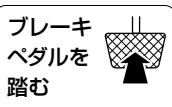
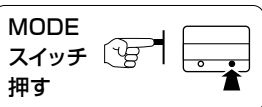
【一時的な加速方法】

①アクセルペダルを踏むと加速
②はなすと 5 の速度に戻りオートクルーズ

解除する

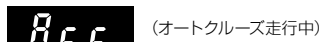
次のいずれかの方法を行ってください。

または

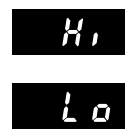
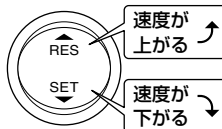
または

SETスイッチ1秒長押し

⇒ オートクルーズが解除され、スロコンに戻る

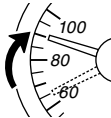
設定速度を変える

RES／SETスイッチを押し設定速度を変える

Acc （オートクルーズ走行中）

- RESスイッチ押す ⇒ Hi が表示され設定速度が上がる
- SETスイッチ押す ⇒ Lo が表示され設定速度が下がる

RES 速度が上がる　Hi
SET 速度が下がる　Lo

1回押すごとに2km/h
2回押すと4km/h、3回押すと6km/h…

押すごとにピッと音が鳴り、<u>約2km/hずつ加速（または減速）</u>します。押した回数に応じた速度まで加速（または減速）し、自動走行します。

設定したい速度まで押し続ける（加速時）

ピッと1回鳴った後ピッピッピッという連続音に変わります。<u>押している間加速し続け</u>、はなしたときの速度で自動走行します。
※減速時は1秒長押しでオートクルーズ解除となります。

※エンジンブレーキ以上の減速はできませんので、急な下り坂などでは減速しない場合があります。

復帰させる

オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。

1 オートクルーズ解除

2 通常走行
（30km/h以上）

3 RESスイッチ押す

4 rES が5秒間表示され、Acc に切り換わる

rES ⇒ Acc

5 前回の設定速度まで自動で加速（または減速）し、自動走行

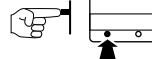
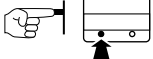
※安全のため、オートクルーズ解除後に車速がいったん10km/h（メーター読みでは15km/h）以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。
（製品出荷時は L-3 の設定です。）

【設定の参考例】

L-5	アルト
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8

⚠ **走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。**

【調整方法】 Acc オートクルーズ走行中に調整ができます。

1 LEVELスイッチ押す

2 現在のレベルを表示

L-0

3 LEVELスイッチ押すごとに切り換わる

故障かな?と思ったら

基本動作と車輌関係

症　状	原　因	対　策
キースイッチONで表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	5Pコネクター 8Pコネクター 6Pコネクター の接続不良。	
	専用ハーネス の接続不良。	
	専用ハーネス の品番間違い。	
キースイッチONでドットのみの表示になる。	黒 コードの配線間違い、または接続不良。 もしくはリモートスイッチの接続不良。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。	「キー ON」または「キー OFF後15分以内」に **アクセルコネクター** または 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書16ページ)
	「初期設定」が行われていない。	「初期設定」(⇒ 本書8ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書16ページ)
	ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書8ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書16ページ)
初期設定または車速パルス設定に入れない。	オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	走行中のため。	停車状態で行ってください。
初期設定中に Err 表示になる。 Err	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書8ページ)
エンジンをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症　状	原　因	対　策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書8ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキーをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからキーをOFFにしてください。
スポーツモードまたはレスポンスモード中、リバース時に bAc 表示にならない。 × bAc	ピンク コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	社外ナビのリバースケーブルに接続している。	リバース配線を行ってください。(⇒ 本書5ページ)
	リバースランプをLEDに交換している。	●純正のリバースランプに戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。

オートクルーズ関係

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因</th><th colspan="2">対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="2">-b- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 -b-</td><td>灰 ピンク コードの配線間違い、または接続不良。</td><td colspan="2">再度ご確認ください。</td></tr>
<tr><td>ブレーキランプをLEDに交換している。</td><td colspan="2">純正のブレーキランプに戻してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">--- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 ---</td><td>オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。</td><td colspan="2" rowspan="2">再度ご確認ください。</td></tr>
<tr><td>設定可能速度外。</td></tr>
<tr><td>「車速パルス設定」が正確に行われていない。</td><td colspan="2">「車速パルス設定」を行ってください。
(⇒ 本書９ページ)</td></tr>
<tr><td>SETスイッチを押しても表示が切り換わらずオートクルーズが動作しない。</td><td>「初期設定」が正確に行われていない。</td><td colspan="2">「初期設定」を行ってください。
(⇒ 本書８ページ)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。</td><td>灰 コードの配線間違い、または接続不良。</td><td rowspan="2">再度ご確認ください。</td><td rowspan="4">※オートクルーズを再度お使いになるには、キーをOFFにし、表示が消灯したことを確認してからエンジンをかけ直してください。</td></tr>
<tr><td>オレンジ ピンク コードの配線間違い、または接続不良。</td></tr>
<tr><td>「初期設定」が正確に行われていない。</td><td>「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書８ページ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">速度が15km/h以下になった場合は自動で解除されます。</td></tr>
<tr><td>急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。</td><td>オートクルーズレベル調整がレベル小（L-1側）になっている。</td><td colspan="2" rowspan="2">「オートクルーズレベル調整」を行ってください。
(⇒本書13ページ)</td></tr>
<tr><td>オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。</td><td>オートクルーズレベル調整がレベル大（L-5側）になっている。</td></tr>
</table>

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1～SP7	スポーツモード(数字が大きい＝レスポンスが高い)
rP1～rP5	レスポンスモード(数字が大きい＝レスポンスが高い)
Ec1～Ec5	ECOモード(数字が大きい＝レスポンスが低い)
nor	ノーマル(純正状態)
A□□	アクセル開度表示
Acc	オートクルーズ動作中
Hi/Lo	オートクルーズ設定速度を上げる／下げる
rES	オートクルーズ復帰開始（リジューム）
bAc	リバース時（スポーツモードとレスポンスモード中のみ）
- - -	オートクルーズ中止（車速）
-b-	オートクルーズ中止（ブレーキ）

設定中の表示

表示	説明
cAr	初期設定モード
L□□	アクセルを踏まない位置
H□□	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P□□	車速パルス数
L-□	オートクルーズレベル調整

ヒント

チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は、下記の方法で消灯させてください。

① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
② ①を行っても消灯しない場合は、バッテリーマイナス端子を10分程度外してください。
③ ① ②を行っても消灯しない場合は、カーディーラーなどで専用機器を使用して消灯作業を行ってください。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/